

資料番号④

5 年災第 6 6 5 号 準用河川小川河川
災害復旧工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		指名競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	業 務 名	5年災第665号 準用河川小川河川災害復旧工事 (令和7年8月5日入札分)
	業 務 場 所	唐津市浜玉町平原地内
	業 務 概 要	施工延長 1工区 L=7.0m、2工区 L=24.0m、 3工区 L=36.0m、4工区 L=16.5m、 5工区 L=14.0m、6工区 L=4.0m、 7工区 L=5.5m (1) 大型ブロック積 A=544m ² (2) コンクリートブロック積 A=93m ² (3) 小口止工 N=15か所 (4) すり付け工（練石積） A=134m ² (5) 工事用道路 ア 敷砂利 L=225.0m イ 敷鉄板 L=40.0m (6) 仮締切排水工 N=7か所
	業 種	土木一式工事
	予 定 価 格（税抜）	111,730,000円
	最低制限価格（税抜）	101,653,000円
	指名業者選定理由	1 土木一式工事に係る入札参加資格の格付けが特A級又はA級であること。 2 唐津市内に本店、支店、営業所等があり、かつ、入札参加資格について、当該本店、支店、営業所等での登録を受けていること。 ただし、支店、営業所等については、唐津市条件付一般競争入札における入札参加資格要件取扱要綱（平成30年告示第43号）第4条の規定による認定準市内業者の登録を受けていること。
入札の経緯及び結果	入 札 期 間	令和7年7月31日から令和7年8月4日まで
	指 名 者 数	18者
	入札辞退	15者
	入札失格	2者
	入札参加者数	1者
	開 札 日	令和7年8月5日

	入 札 回 数	1 回
	契 約 日	令和7年8月12日
	契約業者名	原田建設(株)
	契約金額(税抜)	111,730,000円
	落 札 率	100%
備考	当初契約期間 令和7年8月12日～令和8年3月31日	

第2号様式（第7条関係）

入札内容成績表

工事（業務）の名称	公災工第1-5-3807号 5年災第665号 準用河川小川河川災害復旧工事
入札方式	指名競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 浜玉町平原 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和8年3月31日 まで
入札執行課名	契約検査課
入札日	令和7年8月5日（火） （開札日）
予定価格（税抜）	¥111,730,000.-
最低制限価格	¥101,653,000.-

指名した者 (入札者) の商号又は名称	入札金額 (千円)			備考
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	
詳細は別紙のとおり				

（注）上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則上の申込みに係る価格である。

（指名理由） 唐津市建設工事請負契約に係る指名基準等要領第2条、第3条及び第4条 の規定により指名

別紙

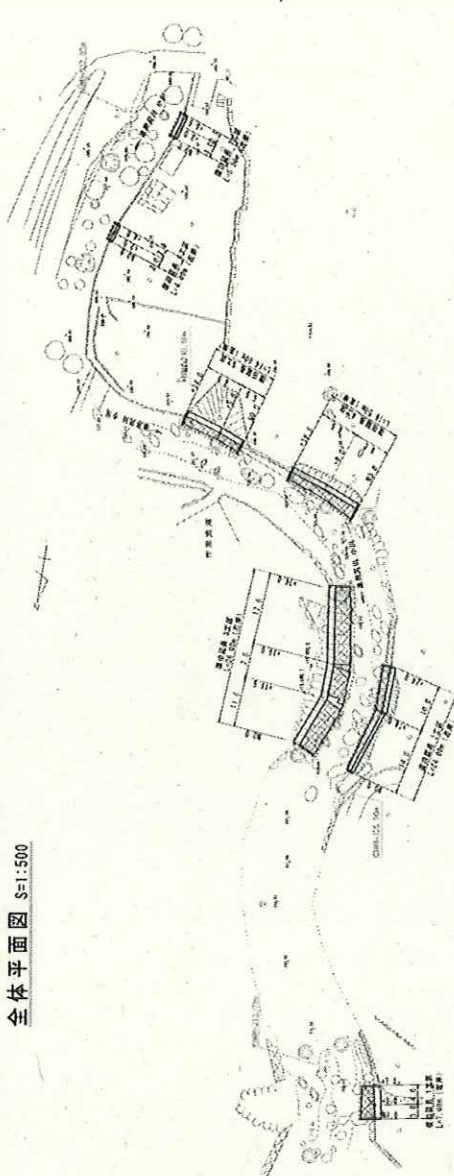
[illegible]

工事名	5年災第665号 準用河川小川河川災害復旧工事
施工場所	唐津市 浜玉町平原 地内
工事説明	【工事概要】令和5年7月に発生した豪雨により、河川護岸が崩壊・被災したため、復旧工事を行うもの。
	【施工内容】 施工延長(両岸) L=83.0m(1工区:L=7.0m、2工区:L=24.0m、3工区:L=36.0m、4工区:L=16.5m、5工区:L=14.0m、6工区:L=4.0m、7工区:L=5.5m)
	・大型ブロック積 A=544m ² ・コンクリートブロック積 A=93m ² ・小口止工 N=15箇所 ・すり付け工(練石積) A=134m ²
	・工事用道路(敷砂利) L=225.0m ・工事用道路(敷鉄板) L=40.0m ・仮締切排水工 N=7箇所

施工位置図

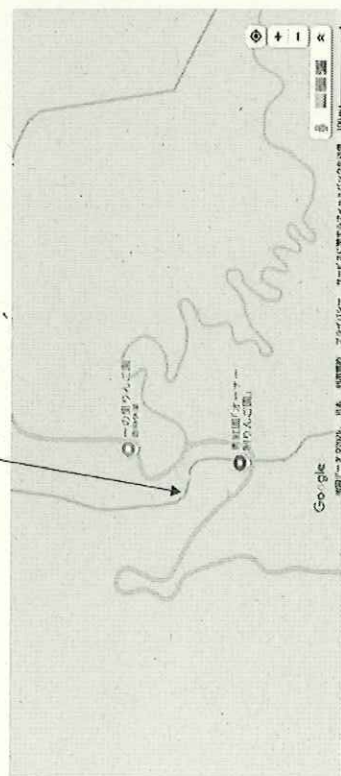
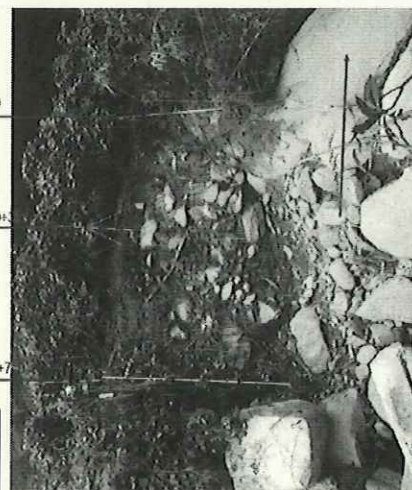


全体平面図 S=1:500



終点 NO.0+7 変旧延長 L=7.0m 起点 NO.0

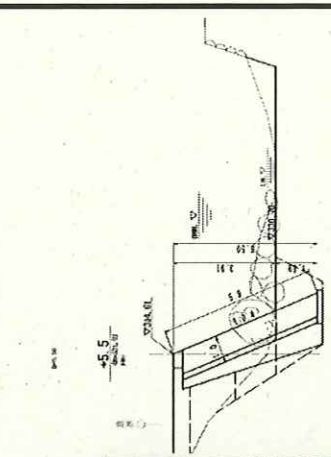
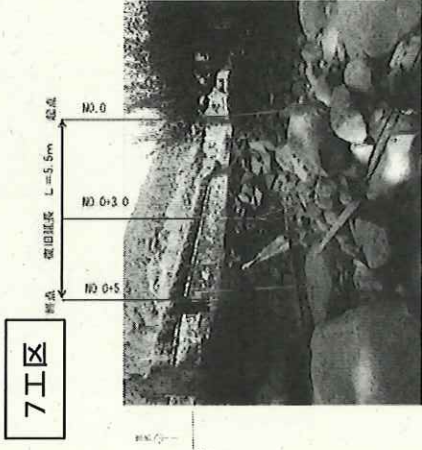
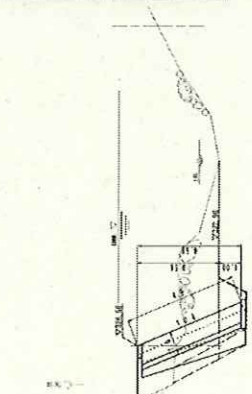
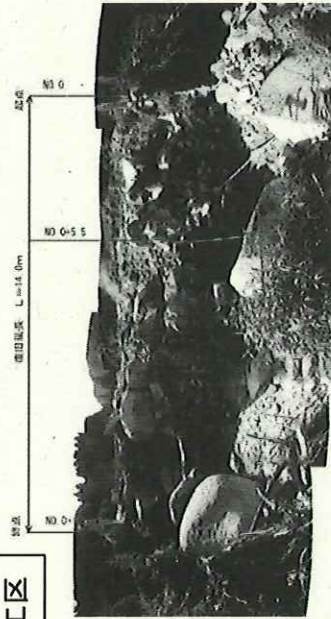
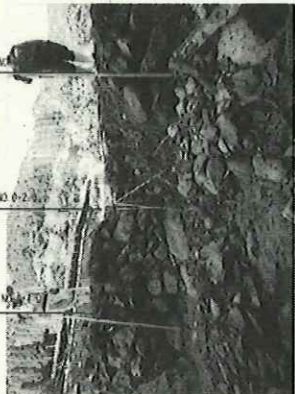
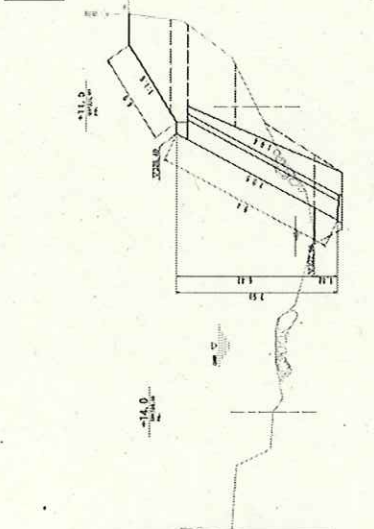
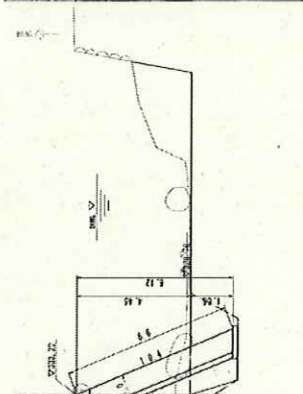
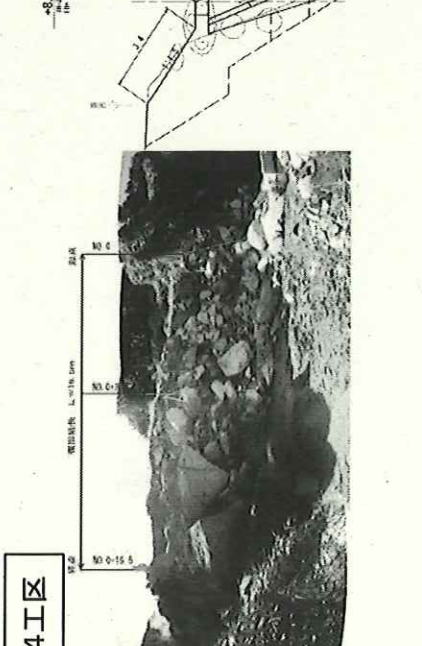
1工区



工事説明表

2/3

発注課: 第一工務課

工事名	5年災第665号 準用河川小川河川災害復旧工事	
施工場所	唐津市 浜玉町平原 地内	
2工区	 標高 NO. 0-24 NO. 0-14 標高差 L=10.0m	 標高 NO. 0 NO. 0-5.5 標高差 L=5.5m
3工区	 標高 NO. 0 NO. 0-13.5 NO. 0-14 NO. 0-12 標高差 L=13.5m	 標高 NO. 0-2.5 標高差 L=2.5m
4工区	 標高 NO. 0-15.5 NO. 0-7 標高差 L=8.0m	 標高 NO. 0 NO. 0-3.0 NO. 0-5 標高差 L=5.0m
5工区	 標高 NO. 0 NO. 0-14.0 標高差 L=14.0m	 標高 NO. 0 NO. 0-5.5 標高差 L=5.5m
6工区	 標高 NO. 0-2.5 標高差 L=2.5m	 標高 NO. 0 NO. 0-2.5 標高差 L=2.5m
7工区	 標高 NO. 0 NO. 0-3.0 NO. 0-5 標高差 L=5.0m	 標高 NO. 0 NO. 0-3.0 NO. 0-5 標高差 L=5.0m

工事説明表

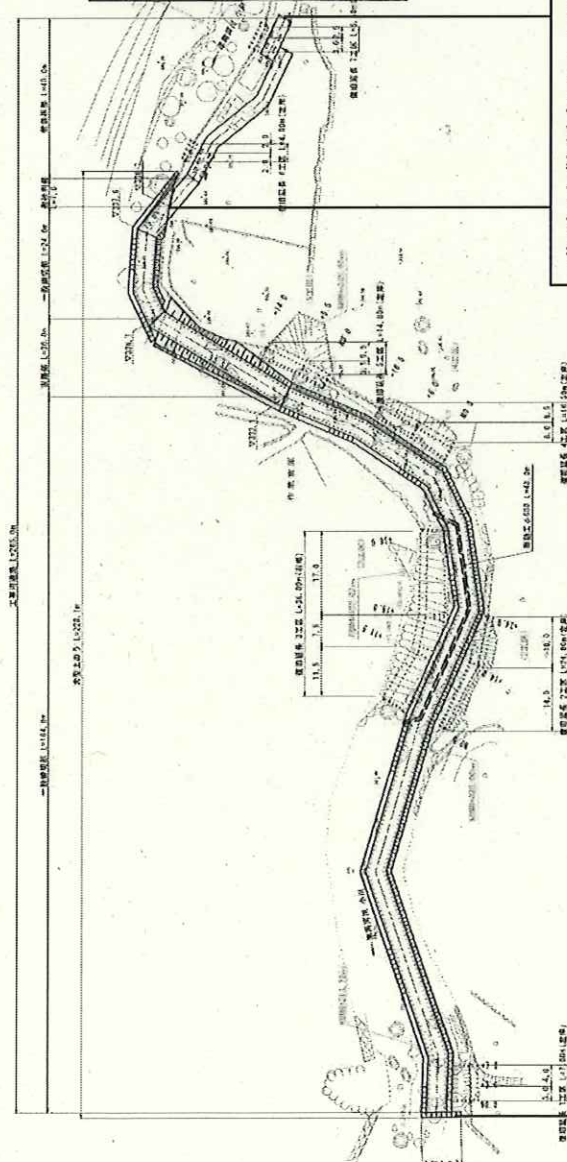
3/3

発注課： 第一工務課

工事名	5年災第665号 準用河川小川河川災害復旧工事
施工場所	唐津市 浜玉町平原 地内

仮設計画図 S=1:500
参考図

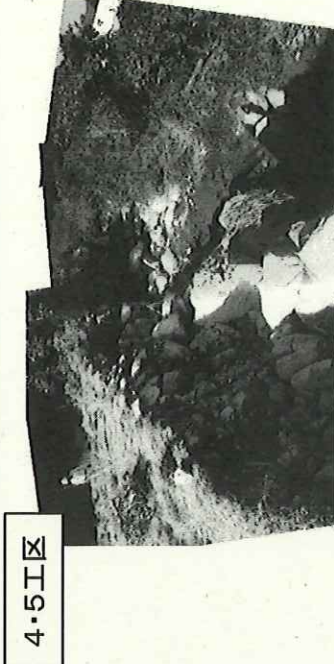
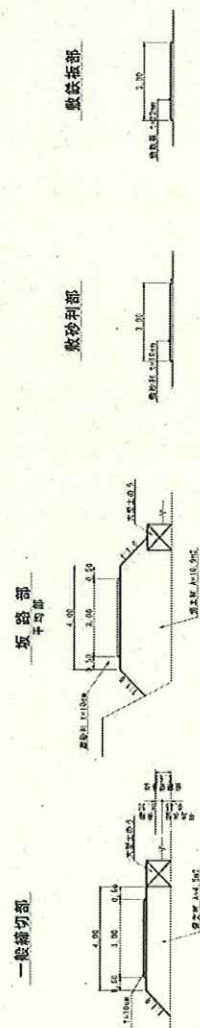
工事用道路(敷鉄板+河道内仮設盛土)



河道内仮設盛土(1~5工区)

背後地敷鉄板(6、7工区)

工事用道路断面図 S=1:100



選定理由への回答書

工事（業務）名	5年災第665号 準用河川小川河川災害復旧工事
選 定 委 員	河野委員、山崎委員
選 定 理 由	（検証案件③とともに）災害復旧工事であり、一社応札であるものの、一方は100%、他方が94.33%と落札率に差が生じる原因を知りたい。 予定価格と契約金額が同額になる状況を知りたい。
回 答 文	○河野委員への回答文は検証案件③に記載。 ○予定価格と契約金額が同額になる状況について 検証案件①の回答文の事情（唐津市の入札契約制度、災害復旧工事の発注件数が多いこと）に加えて、検証案件③の回答文に記載した、工事の困難さも相まって、予定価格と契約金額が同額になる状況を発生させたものと思慮する。

資料番号⑤

5 年災第 7 4 5 号 市道木浦滝川線
道路災害復旧工事

競争入札参加資格設定説明資料

入 札 方 法		指名競争入札（電子入札）
競争入札参加資格設定方法等	業 務 名	5年災第745号 市道木浦滝川線道路災害復旧工事 (令和7年8月5日入札分)
	業 務 場 所	唐津市七山滝川地内
	業 務 概 要	施工延長 L=32.2m (1) 橋梁撤去工 一式 (2) 基礎工(A1・A2橋台) N=4本 (3) 橋台 N=2基 (4) 上部工架設 L=31.0m (5) 仮設工 一式
	業 種	土木一式工事
	予 定 価 格 (税抜)	196,760,000円
	最低制限価格(税抜)	180,243,000円
	指名業者選定理由	1 土木一式工事に係る入札参加資格の格付けが特A級又はA級であること。 2 唐津市内に本店、支店、営業所等があり、かつ、入札参加資格について、当該本店、支店、営業所等での登録を受けていること。 ただし、支店、営業所等については、唐津市条件付一般競争入札における入札参加資格要件取扱要綱（平成30年告示第43号）第4条の規定による認定準市内業者の登録を受けていること。
入札の経緯及び結果	入 札 期 間	令和7年7月31日から令和7年8月4日まで
	指 名 者 数	18者
	入札辞退	15者
	入札失格	2者
	入札参加者数	1者
	開 札 日	令和7年8月5日
	入 札 回 数	1回
	契 約 日	令和7年9月24日
	契約業者名	平野建設産業(株)
	契約金額(税抜)	196,600,000円
	落 札 率	99.92%
備考 当初契約期間		令和7年9月24日～令和8年3月27日

第2号様式（第7条関係）

入札内容成績表

工事（業務）の名称	公災工第1-5-3809号 5年災第745号 市道木浦滝川線道路災害復旧工事
入札方式	指名競争入札（電子入札）
工事（業務）場所	唐津市 七山滝川 地内
契約期間	請負契約締結の日から 令和8年3月27日 まで
入札執行課名	契約検査課
入札日	令和7年8月5日（火） （開札日）
予定価格（税抜）	¥196,760,000.-
最低制限価格	¥180,243,000.-

指名した者 (入札者) の商号又は名称	入札金額 (千円)			備考
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	
詳細は別紙のとおり				

（注）上記金額に100分の10に相当する額を加算した金額が、唐津市財務規則上の申込みに係る価格である。

（指名理由） 唐津市建設工事請負契約に係る指名基準等要領第2条、第3条及び第4条 の規定により指名

別紙

[illegible]

工事説明表

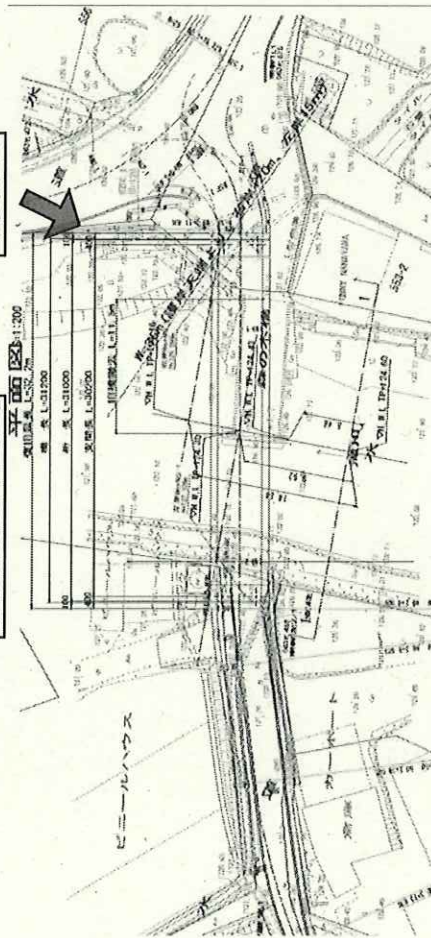
発注課: 第二工務課

工事名	5年災第745号 市道木浦滝川線道路災害復旧工事
施工場所	唐津市 七山滝川 地内
工事説明	【工事概要】 令和5年7月発生の豪雨により、橋梁が被災したため、復旧工事を実施するもの。
	【構造・規模】 森の木橋 (橋長 22.8m 旧橋1961年架設 RC単純床版橋(4連))
	【工事内容】 橋梁復旧工事 橋長 31.2m 下部工 2基(上部工:PC単純ポステンホロースラブ橋、下部工:逆T式橋台)
	基礎工 N=4本、橋梁撤去工事 N=1式、仮設工 N=1式

①位置図

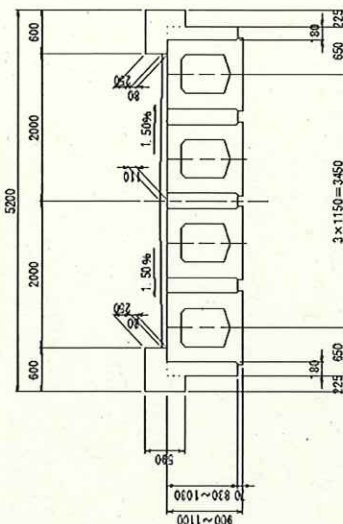


【橋梁架設平面図】

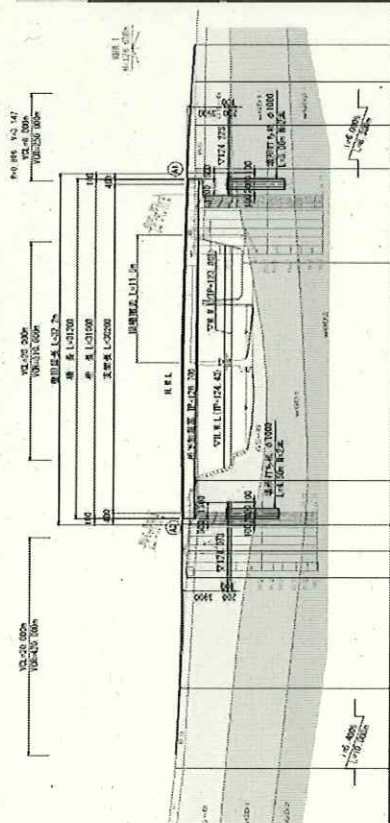


写真方向

【上部工断面図】



【森の木橋橋梁全体一般図】



【写真 仮設位置】



【写真 被災時】



選定理由への回答書

工事（業務）名	5年災第745号 市道木浦滝川線道路災害復旧工事
選 定 委 員	大森委員、松尾委員
選 定 理 由	工事費が高額であるため、業務内容を知りたい。 同一発注課・同一業者による道路災害復旧工事において、応札者1社かつ高落札者の案件が複数見られる状況について、災害対応の緊急性や地域施工力の観点から制度的に説明可能かを確認したい。
回 答 文	○業務内容について 令和5年7月発生の豪雨により、橋梁が被災したため、撤去し、新たな橋梁を復旧する工事を行うものである。（詳細は工事説明表に記載） ○応札者1社かつ高落札者の道路災害復旧工事が複数見られる状況について 現在、災害復旧工事、通常工事の別を問わず、指名基準（唐津市建設工事等請負契約に係る指名基準等要領）に従い、登録業種（工種）ごと、予定価格ごとに入札参加資格者を決めている。 また、唐津市内業者育成推進取扱要領を制定し、市内本店業者を優先して入札参加資格者としているが、災害復旧工事についても、市内業者でも技術的に十分に対応可能であると考え、市内本店業者を優先して入札参加資格を与えている。 これらの運用により、市内業者の手持ち工事量が多い状態が継続していたことが、応札者1社かつ高落札率という状況になっていると推察する。

資料番号⑥

唐津市文化体育館改修工事調査整備
計画策定業務

唐津市文化体育館改修工事調査整備計画策定業務

1 目 的

唐津市文化体育館は、昭和56年の建築から44年が経過しており、老朽化に伴う全面的な改修が必要な状況となっている。

そこで、本業務では施設の現況を正確に捉え、具体的な改修の内容や費用について検討するとともに、予算を平準化した改修期間を設定し、実効性のある整備計画を策定することを目的としている。

このため、専門的な知識や豊富な経験に基づく提案が可能であるなど高い能力を備えた事業者を公募型プロポーザル方式により選定し、優れた成果を期待するものである。

2 業務概要

- (1) 唐津市文化体育館の現況調査
- (2) 調査結果を踏まえた改修内容の検討、概算工事費の算出
- (3) 事業スケジュールの検討、整備計画の策定

3 委託期間

契約締結日から令和8年11月30日まで

4 予定経費（税込み）

¥49,892,700-

（消費税及び地方消費税相当額¥4,535,700-）

5 契約金額（税込み）

¥49,843,200-

（消費税及び地方消費税相当額¥4,531,200-）

6 プロポーザル参加業者

青木茂建築工房・ARPリサーチ設計共同企業体

7 参加業者選定の理由

公募型プロポーザル手続きの開始について公告し、期限までに応募があった事業者が参加資格を満たしていたため選定したものの。

8 契約業者選定の詳細の内容

優先交渉権者は、本業務実施要領に基づくプロポーザル審査委員会を開催し、①応募者による企画提案書を用いたプレゼンテーション及びヒアリング、②審査委員による採点を経て決定した。

審査は、唯一応募があった1者について、5名の審査委員により実施した。

採点の方法は、本業務審査要領に定めており、業務実績、業務実施体制、業務遂行能力・企画提案内容、価格など5つの審査項目を細分化した9項目の配点を10点または15点の合計100点とし、各項目の採点に当たっては「最低限のレベルは満たしている」と判断できる場合を「中位」の評価とし、そこを基準に5段階の評価を行った。

採点の結果、審査委員5名の合計点は399点となり、最低基準としていた配点合計500点の5割である250点を上回っていたことから、優先交渉権者として決定した。

選定理由への回答書

工事（業務）名	唐津市文化体育館改修工事調査整備計画策定業務
選 定 委 員	大森委員
選 定 理 由	業務の内容と、応募者数、採点基準の提案による点数と入札金額による点数の割合を知りたい。
回 答 文	【業務の内容】 老朽化に伴い改修を要する唐津市文化体育館について、施設の現況を正確に捉え、具体的な改修の内容や費用について検討するとともに、予算を平準化した改修期間を設定し、実効性のある整備計画を策定するため、次の業務を行う。 (1) 唐津市文化体育館の現況調査 (2) 調査結果を踏まえた改修内容の検討、概算工事費の算出 (3) 事業スケジュールの検討、整備計画の策定 【応募者数】 1 者（青木茂建築工房・ARPリサーチ設計共同企業体）

【採点基準の提案による点数と入札金額による点数の割合】

採点結果（審査委員 5 名の合計点）

審査項目	細目	配点 A		採点 B		割合 B/A (%)
		(点)	構成(%)	(点)	構成(%)	
業務実績	現況調査	5 0	10.0	5 0	12.6	100.0
	整備計画	5 0	10.0	5 0	12.6	100.0
業務体制	人員確保	5 0	10.0	3 6	9.0	72.0
遂行能力・提案内容	課題対応・方針	7 5	15.0	5 1	12.7	68.0
	適切な工程	5 0	10.0	3 6	9.0	72.0
	調査手法	5 0	10.0	3 6	9.0	72.0
	提案内容	7 5	15.0	5 4	13.5	72.0
	成果の期待度	5 0	10.0	3 6	9.0	72.0
価格	最低提案価格との比較	5 0	10.0	5 0	12.6	100.0
合計		5 0 0	100.0	3 9 9	100.0	79.8